

《公益財団法人山形県暴力追放運動推進センター貸出用DVD一覧表》

番号	対 象 上映時間	表 題	内 容
1	企業全般 39分	社会VS暴力団	第1話 「暴力団排除条項」による暴力団関係企業等の一切排除 第2話 みかじめ料要求で警察に相談、脅迫で事件化し、暴対法「代表者責任追及」を適用した事例
2	企業全般 36分	断 絶	資金繰りに窮した会社経営者が、素性不明な投資顧問会社(共生者)を利用したことで、その後、数々の契約取引や要求を受け、最終的に食べ物にされていく様子や対応要領をドラマ化
3	企業全般 56分	不当要求の手口と対応	迷惑電話やクレーマーについて、その手口や対応を映像を交えながら、弁護士・企業担当者のディスカッション形式で解説
4	行政機関 47分	狙われた行政	生活保護費詐欺事件をきっかけに、再発防止と不当要求撲滅に取り組む市役所が、公営住宅からの退去を求め、職員が一丸となり暴力団員に立ち向かう事例を通じ、対策・対応要領を解説
5	行政機関 42分	シャットアウト (行政対象暴力)	公共工事に暴力団関係業者を下請参入要求する暴力団に対して、警察、暴追センター、弁護士会の協力を得て、市を上げて組織対応をしていく事例を通じて、対策・対応要領を解説
6	金融機関 39分	シャットアウト (企業対象暴力)	暴力団等反社会的勢力による銀行への不当要求行為に対し、一切の反社会的勢力との関係遮断を宣言、「企業指針」に基づき組織が一丸となって、反社会的勢力と対決する姿を描写
7	企業全般 36分	負けへんで!	交通事故、スーパー店舗内転倒、アパート家賃滞納、本購読電話、土地境界トラブルの五つのパターンに介入した暴力団員による不当要求に対する対処要領(事例)
8	企業全般 54分	それでええんか!	第1話 書籍購入要求の撃退法 第2話 旅館、ホテルに対する忘年会申し込みの撃退法 第3話 公共工事下請け参入要求の撃退法
9	企業全般 34分	あなたならどうする?	「責任をとれ」・「誠意を見せろ」・「マスコミに公表する」・「ネットに書き込む」・「不祥事の情報を入手した」等の常套句で企業に迫る反社会的勢力、クレーマーに対する対処方法を弁護士が解説
10	飲食店 35分	決別への道	企業経営者が同級生のよしみで取引、後に同級生が暴力団員と判明、同経営者が出入りする飲食店では、以前から暴力団員の宴会を引き受けており、両者が一緒になって暴力団と決別をする事例
11	行政機関 48分	鉄の砦	《土木工事入札参加排除・市が下請参入要求承諾結果の事例》 第1部 “事なかれ主義” 担当者任せ、組織を挙げて対処が鉄則 第2部 不当行為に直面、まずは暴追センター・警察に相談
12	企業全般 28分	許されざる者	暴力団社会の実情を制作から出演まで全てのポジションを現職 警察官がこなした作品で、暴力団主人公が組長から不当要求拒否の建設会社社長襲撃を命じられ実行、失敗して流れ弾が市民に当たり逮捕取調べを受けるも、組織ぐるみを否定続けるが、組織の裏切りに真実を供述し組長らが逮捕・裁判で実刑を受ける等のストーリー
13	企業全般	暴力追放シミュレーション	ロールプレイング方式 視聴される方が、ストーリー中の「あなた」役になって、実際

	30分		にVTRのストーリーに沿って暴力団の対応をしていただくもの。
14	企業全般 36分	解説！暴排条例	平成23年4月、暴力団のない安全で安心なまち大阪を目指すために、これまでの「警察VS暴力団」の構図を「社会VS暴力団」の構図に切り替え、府や事業者等の役割を定め、暴力団を社会全体から排除する仕組みを擁立する目的で「大阪府暴力団排除条例」が施行された。
15	企業全般 20分	民暴委員会三十年の歩み	市民の平穏な生活を脅かし、不当な利益を得ようとする暴力団などの反社会的勢力。日弁連民暴委員会設立から三十年、私たちはその被害の救済と予防に邁進してきました。しかし、今もなお、それらは市民を脅かしている現状があります。私たち日弁連民暴委員会は、暴力団などの反社会的勢力の壊滅に向けて、警察・行政・市民と連携し、さらに徹底した活動を続けていきます。
16	企業全般 30分	黒い契約者	不動産会社に、一般企業事務所開設と偽りマンションに入居して組事務所を開設・ホテルの弱みに付け込み金銭等を要求、それに対し不動産会社、住民、ホテルが暴排条項を活用した事例
17	企業全般 28分	黒いパートナー	暴力団を利用したらどうなるかをテーマに、ネットオークションIT企業でトラブル、問題解決に暴力団を利用、次々に不当要求で株価暴落危機、コンプライアンス室長を中心に立ち向かう。
18	商店 31分	みんなの力で！	個人商店に対する不当要求に対し、商店街の仲間が協力して暴力団と対峙するほか、関係機関への相談の重要性や中止命令の効果、組長への損害賠償請求を求める事例
19	企業全般 53分	その「ひと言」が分かれ道	1 アクセサリーが破損してけがをしたというクレームが不当要求へ 2 個人情報の管理の杜撰な企業の弱みにつけこむ反社会的勢力 3 プライベートタイムでターゲットにアプローチし、狙い撃ちにする反社会的勢力
20	飲食店 56分	排除の分かれ道	レストランチェーン店舗の失態・本社社長のスキャンダル等をネタに反社会的勢力が金銭等の不当要求、それに対する間違った対応及び正しい対応と解説
21	商店 58分	闇にひそむ影	住宅総合メーカー新入社員が契約後、暴力団フロント企業と判明、暴排条項・表明確約書で契約を破棄する事例と前から暴力団と付き合いっていた商店街が条例施行を機に暴力団を排除する事例
22	企業全般 37分	明日を拓く勇氣	① スナック店主が、用心棒代を払っていた暴力団員から決別を決意、商店街に暴力団排除協議会を発足して関係遮断を推進 ② 以前から暴力団組織名義の口座を有する金融機関が、来店預入暴力団員に対し、暴排条項を楯に拒否 ③ 不動産会社が管理するマンションに暴力団員が居住していることが判明したことから、排除する事例
23	企業全般 108分	撃退～基本的対応要領	1 平素の準備～トップの危機管理等（20分） 2 有事の対応Ⅰ～来訪者のチェックと連絡等6項目（30分） 3 有事の対応Ⅱ～書類の作成・署名・押印等6項目（27分） 4 有事の対応（Ⅰ・Ⅱ）12項目ダイジェスト版（31分）
24	企業全般 47分	事前の備えこそ最大の防御～巧妙化する反社会的勢力の罠～	1 企業にクレームをつける悪質クレマー（レストラン対象）（19分） 2 反社会的勢力によるインターネットを悪用した不当要求（16分） 3 暴排条項の記載がない契約書での取引によるリスク（12分）
25	建設関係 34分	決断の刻 （～闇に引き込まれないために～）	ゼネコンを利用し、建設事業に入り込んでくる暴力団、そのとき、あなたならどうしますか。一人で悩まず、自分に出来る何かがある。そう、今が決断の刻！
	企業全般		第1話～機関紙・書籍・名簿等購読要求（23分）

26	93分	暴排のシナリオ	第2話～寄付金・賛助金・会費等を要求(22分) 第3話～因縁をつけて金品や物品の購入を要求(22分) 第4話～工事の下請け参入等の要求(26分)
27	企業全般 35分	あなたはひとりじゃない!	オールプレイ 1 増大する暴力団の脅威(10分30秒) 2 暴力団との関係遮断に向けて(2分10秒) 3 暴力団への対応(8分30秒) 4 暴力団排除の効果的対応(11分)
28	企業全般 40分	不当要求の見極めポイントと実践的対応テクニック	オールプレイ 1 苦情・不当要求の見極めポイント(24分) 2 不当要求を見極めるための事実確認のポイント(16分)
29	企業全般 43分	不当要求・クレームへの初期対応 効果的な“必殺ワード”と対策ポイント	オールプレイ 1 電話による不当要求への対応(17分) 2 インターネットによる不当要求への対応(9分) 3 直接面談による不当要求への対応(16分) 4 これまでの作品紹介(1分)
30	企業全般 46分	暴力団排除 入札妨害・就労支援	1 入札妨害(23分) 2 就労支援(17分) 3 離脱者受入れ事業主インタビュー(6分)
31	企業全般 39分	暴力団排除～絶対負けません～	反社会的勢力の企業に対する嫌がらせとも言える行為により、金品を得ようとする輩は現在でも減少したとは言えず対応策については、マニュアル化しておく必要があります。彼らは、必ず皆さんの前に現れます。反社会的勢力の不当要求にどのように対応していくのか解説します。
32	企業全般 59分	不当要求防止責任者の役割と講習概要	各都道府県暴力追放運動推進センターでは、暴力団対策法に基づき、事業所ごとに選任された不当要求防止責任者に対し「不当要求防止責任者講習会」を実施しています。このDVDでは、講習会の概要のほか、講習会の講師を務めるための必要事項や、不当要求防止責任者が事業所内で講義を行う際のポイントなどを解説しています。
33	企業全般 53分	危機に直面してからでは遅すぎる!不当要求対応マニュアルの作成とその実践	不当要求対応マニュアルの構成項目、組織としての対応方針・体制、不当要求への対応手順、想定される不当要求と対応フローチャートなどを解説しています。
34	企業全般 32分	奴らには屈しない!	社会の間を暴き、問題提起とその解決の提案を綿密な取材をもとに鋭い視点で発信している「ジャーナリストK」! 彼はいま、暴力団の不当要求の現状を取材し始めた・・・
35	企業全般 36分	暴力団がやってきた!	～暴力団による不当要求等の実態と対応要領～
36	企業全般 35分	訣別のとき～その男はなぜ、暴力団をやめたのか～	ラーメン屋店主、岩田のもとに新聞記者が取材に来た。 実は岩田は元暴力団員。記者に語った暴力団の卑劣な実態とは?なぜ組をやめることを決意したのか?
37	企業全般 77分	暴排の標(しるべ)	1 反社会的勢力によるクレーム対応要領について(24分) 2 適格都道府県センター制度による暴力団事務所の撤去について(25分) 3 組長賠償請求(使用者責任)訴訟について(28分)
38	企業全般 36分	教訓 ～失敗を乗り越えて	兄の会社は暴力団の餌食になり、弟が興した新会社にも反社の影が忍び寄る。暴力団排除に敢然と立ち上がった兄と弟。「もうお前らの好きにはさせん!」

【令和2年9月1日現在】